

自家現像もやってみた

阿佐ヶ谷美術専門学校で講師をされている末岡一郎氏の協力のもと、学校（通称アサビ）に押しかけて、8ミリフィルムの自家現像を体験させていただきました。現像って自分でも出来るんだ！温度と時間に気をつければ案外簡単！

※ちなみにシングル8は現像所に出すと、たいてい1週間～10日間かかってしまう。スーパー8に関しては空輸(!)してスイス（またはアメリカ・カンザス州）で現像します。国内でも限定のフィルムならば現像可能。

【感想】作業は、末岡さんの指導のもと上手にできたと思います。現像処理が成功し、安心したのと同時に、フィルムに自分の顔が写っているのを見たときにはなんともいえない感動がありました。末岡さんの話で印象的だったのは「映画を撮影し、編集を行う以外にも、現像の作業も表現の一部であり、現像のムラや、色調など自分現像することによって、作品それぞれの味が出る。現像の知識があれば、表現の幅も広がる」ということでした。自分のとったフィルムを実際に映写したとき、ただ画質がきれいというだけではないフィルムならではのよさというものを本当に体験できました。(石)

★今年のWORKSHOPではナント、この自家現像も体験できます！この現像の面白さを、ぜひ経験してください。



末岡一郎(すえおか・いちろう)氏

【作業手順】

1. 光に当たらないように、フィルムを引き出し、洗剤液を入れた容器に移していく。
2. ゆっくりとよく振る。(攪拌)
3. 洗剤液を排出、温水(40℃)を入れる。
4. 温水を排出、38℃の現像液1を入れる(6分15秒)。ここから時間に注意！
5. 同じように、38℃の現像液2(6分)、3(6分)と入れ替えて攪拌する。
6. 排出、水に入れ替える。
7. 取り出して乾かす。出来上がり！

そもそも8ミリフィルムって何？

ここの幅が8mmの動画用フィルムのこと。小型映画と言ったりもするらしい。ちなみに劇場用商業映画になると35mm幅のフィルムを使用する。

8mm



**ビューワー(エディター)
/ 東芝 Hi-Look ALMIGHTY II**
現像したフィルムを簡単に確認することができる機械。たいてい手回し。



**フジカスコープサウンド
SD12(2-トラック)**
軽くて(といっても7kg弱あり)高性能のサウンド映写機。シングル・スーパー8用。2トラック録音可能！

WORKSHOP速報

今年で6回目を迎えるTAMA CINEMA FORUMのWORKSHOP。講師に山崎幹夫氏、末岡一郎氏決定！！今年は「8ミリ映画」です！詳細は、内容決定次第ホームページなどで随時ご紹介していきます。どうぞお楽しみに！

山崎幹夫(やまざき・みきお)氏.....
1959年生まれ。8ミリ映画を中心とした映画製作を続けている。83年「海辺の憶」、84年「ゴーストタウンの朝」PFF入選。山本政志監督作品「ロビンソンの庭」の脚本担当。94年、初の劇場用公開映画「ブ」を監督。97年、山形国際ドキュメンタリー映画祭で「虚港」が審査員特別賞を受賞。本年4月より早稲田大学第二文学部の講師を務める。著書「8ミリ映画製作マニュアル」は8ミリユーザーのバイブル的存在。さらに2004年「映画を楽しくつくる本」刊行(ワイズ出版)。その他、著書多数あり。ホームページ：<http://www.ne.jp/asahi>
「1990年頃、とある雑誌で『今世紀中になくなるものベスト10』という特集がありました。1位になったのは8ミリフィルム。でも今世紀に入ってから、8ミリフィルムがなくなるけいはありません。ビデオしか知らない若い世代の人たちが、8ミリフィルムの持っている独特の質感に魅了されて使用を始めるのだというのです。そんなブチ盛り上がりを見せている8ミリフィルムという映像フォーマットを使ってワークショップをしたいから、講師をしてくれと打診を受けました。講師なんて柄ではありませんが8ミリ再興のためなら一肌脱ぐつもりです。この機会に8ミリフィルムを味わってみてはいかがでしょうか。」



スプライサー/LPL ステレオサウンドスプ ライサー (型番7251)

フィルムを編集する機械。切っ
って、テープでつなげるとい
うアナログ作業。



リール

フィルムを巻き取るもの。フィルム
200フィートで約
21分(シングル8)、
直径約12.5cm。

8ミリフィルムいまむかし—古くて新しい映像メディア—

8/14(土)上映会

「90年代以降の8ミリフィルム作品」という枠にしぼった特集上映が決定！またそれらの上映の前に、戦前の作品を中心とした短編の8ミリアニメを10作品ほど特別無料上映します。本上映会ではその8ミリフィルムを起点として、昔の古いメディアを新しく見つめ直すための機会となることを目指します。みなさまぜひご参加ください。

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 14:00~14:40 | 特別無料上映『懐かしの8ミリアニメ短編傑作選』 |
| 15:00~16:25 | 『原色バイバイ』(1995/84分) 監督：村上賢司 |
| 16:45~17:35 | 『ファウンド・フッテージ&自家現像作品集』
(1998~2002/41分) 監督：末岡一郎 |
| 17:45~18:40 | 『グータリブトラ』(1999/56分) 監督：山崎幹夫 |
| 18:50~19:30 | 上映監督による座談会 |

日時：2004年8月14日(土) 14:00~

場所：多摩市立永山公民館5階 ベルブホール

料金：一日通し券800円(14:00からの『8ミリアニメ短編傑作選』のみ入場無料)

問い合わせ先：永山公民館内TAMA映画フォーラム実行委員会事務局

TEL042-337-6661(代) / 080-5450-7204(直通)

